



本号のカラム Shodex RSpak NN-814, 614, 414, Shodex RSpak JJ-50

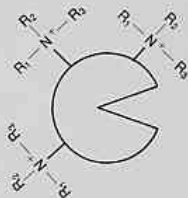
本号のサンプル 有機ヒ素、水溶性ビタミン、界面活性剤分解物、ハロ酢酸

ポリマー系逆相カラムにイオン交換基を導入した充てん剤を 2種類開発いたしました

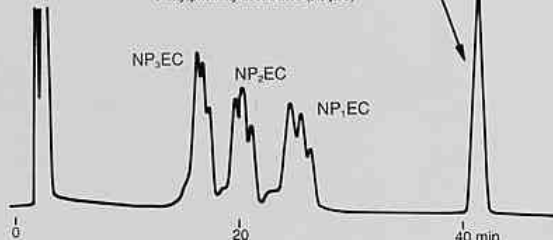
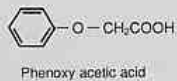
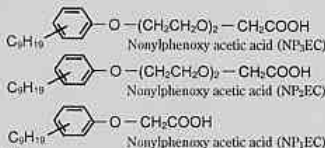
◇RSpak JJ シリーズ◇

—ノニルフェノキシカルボン酸の分析例—

RSpak JJシリーズは「逆相+陰イオン交換」のマルチモードカラムです。中性物質は逆相モードで、塩基性物質はイオン排除モードで、酸性物質は逆相+イオン交換モードで分離されます。



ポリビニルアルコールゲルに
第4級アンモニウム基を導入

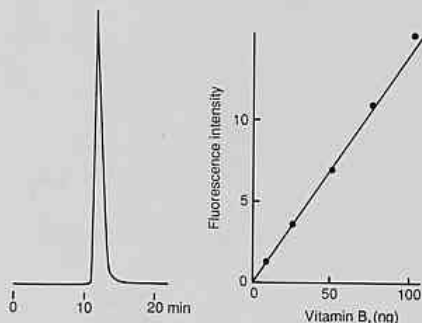


Column : Shodex RSpak JJ-50 4D (4.6mmID×150mm)
 Eluent : 10mM CH₃COONH₄ (pH9.2)/CH₃CN=30/70
 Flow rate : 0.6mL/min
 Detector : Fluorescence detector (Ex.225nm, Em.300nm)
 Temp. : 40°C
 Sample : 1ppm each, 10μL

◇RSpak NN シリーズ◇

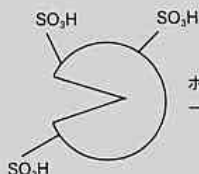
—ビタミンB₁の分析例—

10μL 1ng/μL Thiamine hydrichloride



Column : Shodex RSpak NN-614 (6.0mmID×150mm)
 Eluent : 45mM KH₂PO₄+55mM Na₂HPO₄
 Reagent : 0.01% K₃Fe(CN)₆+15% NaOH
 Flow rate : 0.7mL/min (Eluent), 0.7mL/min (Reagent)
 Detector : Fluorescence detector (Ex.375nm, Em.450nm)
 Column temp. : 25°C

RSpak NNシリーズは「逆相+陽イオン交換」のマルチモードカラムです。中性物質は逆相モードで、酸性物質はイオン排除モードで、塩基性物質は逆相+イオン交換モードで分離されます。



ポリヒドロキシメタクリレートゲルにスルホ基を導入

リン酸緩衝液を用いて分離されたビタミンB₁をポストカラム反応液により蛍光物質であるチオクロームに変換後、蛍光検出します。本法によるビタミンB₁の測定では、pgオーダーまでの定量性を示しました。

